

男女共同参画を考える

意識調査結果の概要

教育委員会 47-3810

パート2

男女共同参画 理想の家庭 法事編

先月号では、「社会の各分野での男女の地位」について、平成22年度に実施した意識調査の結果をお知らせしました。今回は、「家庭生活と男女の役割」ということで、その結果をお知らせします。また、家庭生活の中で「男女共同参画」を実現するため、どのような形が理想的なのか、漫画を見ながら、みんなで考えていきたいと思います!! 皆さんのお家はいかがでしょう?

家庭生活と男女の役割

◆「男は仕事、女は家庭」という考え方

○全体で見ると『肯定派』と『否定派』がよく似た割合になっていますが、性別で見ると、男性は『肯定派』が30.5ポイント多いのに対し、女性は『否定派』が20.5ポイント多くなっており、男性と女性で意識の違いがでてきます。

【前回調査(平成18年度)との比較】

男性 『肯定派』36.0% ↓ 55.9% (19.9ポイント増加)
 『否定派』34.0% ↓ 25.4% (8.6ポイント減少)

女性 『肯定派』40.0% ↓ 31.4% (8.6ポイント減少)
 『否定派』41.0% ↓ 51.9% (10.9ポイント増加)

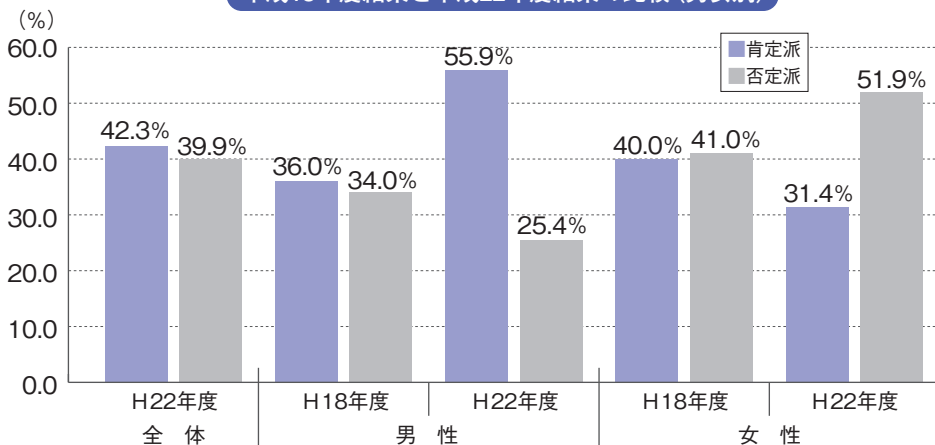
○年代別では、『肯定派』が50代を境に50%以上となっていますが、20代でも47.1%と比較的高い値となっています。

年代	肯定派	否定派
10代	21.9%	65.6%
20代	47.1%	38.2%
30代	29.2%	50.0%
40代	40.0%	42.0%
50代	52.8%	35.8%
60代	54.1%	21.3%

男性と女性で意識の違いが広がりました。



平成18年度結果と平成22年度結果の比較(男女別)



ポイント1
みんなの意見を聞いて決める



ポイント2
分担しながら、できることをする



ポイント3
雑用なども協力して行う

